



商山  
四  
皓  
図



一  
重  
切  
花  
入



三  
彩  
壺

# 企画展 古美術

## かぞえうた

名前に数字がある作品



五  
徳  
義  
書  
巻



十  
角  
蓋  
物  
鳥  
獸  
唐  
草  
鈚  
罽



七  
夕  
図



百  
万  
塔

Museum Collection Exhibition

## Traditional Art with Counting Songs: Works with Numbers in their Titles

ものの数量や分量、あるいは順序や回数をあらわす数字は、わたしたちの身のまわりにあたりまえにあふれています。古美術作品の名前にもジャンルを問わず、数字をとともなうものが少なくありません。それらの数字には意味があって、その作品の特徴が端的に示されています。けれども、数字が意味する内容は一様ではありません。たとえば、「六角皿」や「八稜鏡」などは形そのものを表していますが、「三彩」や「五彩」は釉薬の種類と技法にかかわる数字といえます。花入の「一重切」や「二重切」は花を入れる窓の数に対応していて、これは花入の形式を表すものといえるでしょう。また、「三尊」や「八景」などは決まった組合せを示しています。そのほか年中行事の「七夕」や、「商山四皓図」など中国の故事にかかわるものまで、数字にこめられた意味はじつにさまざまです。

この展覧会は、作品名の中にある数字に注目することが、鑑賞や作品理解の糸口となることを期待して企画しました。展示作品は書・絵画・陶磁・漆工・金工・木竹工など多岐にわたります。かぞえうたのように数字をたどりながら、気軽に楽しく鑑賞していただければ幸いです。

2024年 6月1日(土) ~ 7月15日(月)(祝) 日時指定予約制

根津美術館 NEZU MUSEUM <https://www.nezu-muse.or.jp>

根津美術館  
NEZU MUSEUM





1

いちじゅうぎりはなはいれ 銘 藤浪  
 こぼりえんしゅう  
 小堀遠州作  
 1口 竹  
 日本・江戸時代 17世紀  
 根津美術館蔵

竹の花入のうち、花を生ける窓がひとつのものを一重切、二段にあけたものを二重切という。数字が花入の形式を表している。

3



さんざいこ  
 三彩壺  
 1口  
 中国・唐時代 7～8世紀  
 根津美術館蔵

唐三彩は2色以上の釉を用い、低火度で焼成した明器（副葬品）。この壺は白・緑・褐の3色からなる。数字は技法にかかわっている。

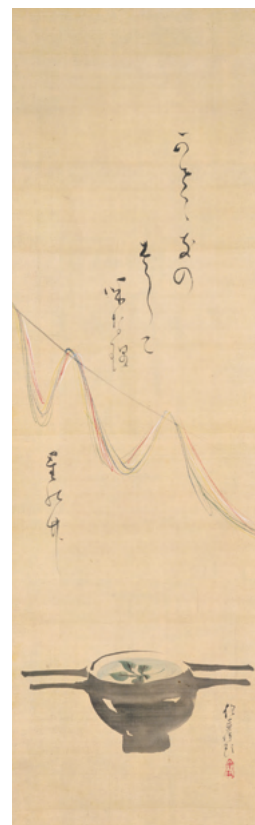


4

おりべしまもんよほうはち  
 織部縞文四方鉢  
 みの美濃  
 1口  
 日本・桃山～江戸時代 17世紀  
 根津美術館蔵

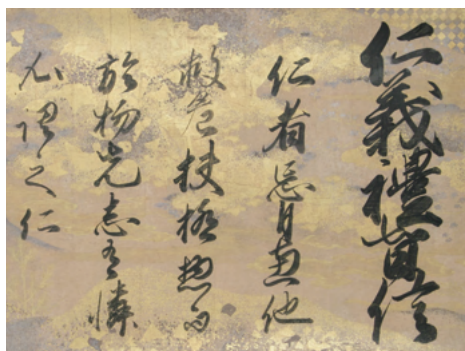
西洋の古い器は円や楕円がほとんどだが、日本ではさまざまな形が生まれた。四角はもとより、六角や八角から十六角のものさえある。

7



たなぼたず  
 七夕図  
 さかいほういつ  
 酒井抱一筆  
 1幅 紙本着色  
 日本・江戸時代 19世紀  
 根津美術館蔵  
 小林中氏寄贈

酒井抱一が、裁縫や書道など技芸の上達を願う七夕（乞巧奠）の飾りを描いたもの。数字は織女と牽牛が出会う7月7日に由来する。



5

重要美術品  
 ごとくぎしよかん  
 五徳義書卷  
 ごようせいいてんのう  
 後陽成天皇筆  
 1巻 彩箋墨書  
 日本・桃山時代 16～17世紀  
 根津美術館蔵  
 小林中氏寄贈

五徳は儒教で説く五つの重要な道徳観念である仁・義・礼・智・信をさす。忠・孝・悌を加えて八徳ともいい、『八犬伝』に取り入れられた。



8

はっかく おだれかま  
八角尾垂釜  
あしや  
芦屋  
1口 鉄  
日本・室町～桃山時代 16世紀  
根津美術館蔵

この釜の形状は、側面に中国の名勝・瀟湘八景の各図を効果的に鑄出すために選ばれた。数字が形だけでなく、図様をも想起させる例。

55



重要文化財  
けごん ごじゅうご しょえ ぜんざいどうじ れきさんず  
華嚴五十五所絵 (善財童子歴参図)  
6面のうち 絹本着色  
日本・平安時代 12世紀  
根津美術館蔵

『華嚴経』にある、善財童子が延べ55人の善知識を歴参する求法の物語を場面ごとに描く。現存するのは一部だが、数字が全貌を示す。

1,000,000



ひゃくまんとう  
百万塔  
2基 木造彩色  
日本・奈良時代 8世紀  
根津美術館蔵

えみのおしかつ しょうとくてんのう どの  
恵美押勝の乱後、称徳天皇が死者を弔うために造らせた100万基の塔で、畿内の10ヶ寺に10万基ずつ納められた。1基でも百万塔とよぶ。

## 同時開催

### 展示室5 江戸 → 東京 - 駆け抜ける工芸 -

江戸から東京へ。幕藩体制が崩壊し、明治政府により近代化が推し進められた激動の時代を生きた東京の工芸家の作品を、漆工・金工を中心に館藏品から紹介します。



ゆうかおまきえいたど  
夕顔蒔絵板戸  
しばた せしん みうらげんや  
柴田是真・三浦乾也作  
木胎漆塗、象嵌  
日本・江戸時代 19世紀  
根津美術館蔵

江戸中期の漆工・小川破笠 (1663～1747) に私淑した2名工の合作。蒔絵に陶板等を組み合わせた作風は破笠細工と称され、明治維新後は輸出品として海外で人気を博した。

### 展示室6 季夏の茶の湯

季夏とは陰暦六月の異称。蒸し暑いこの季節にふさわしく、涼を呼ぶ茶道具約20件をとりあわせ、夏の茶の湯をお楽しみいただきます。



あおい どりやわん りょうきり  
青井戸茶碗 銘 涼及  
朝鮮・朝鮮時代 16世紀  
根津美術館蔵

「青井戸」とは、朝鮮半島で生産された井戸茶碗のうち、胴部が直線的に開いたもの。銘は江戸時代前期の医師・有馬涼及の旧蔵であることに因む。

## 開催概要

展覧会名 企画展「古美術かぞえうた 一名前に数字がある作品一」

**日時指定予約制**

スムーズなご入館と快適な鑑賞のために、当館ホームページで日時指定入館券をご購入ください。(招待はがき等をお持ちで入館料無料の方もご予約ください。)

主催 根津美術館

開催期間 2024年6月1日 [土]～7月15日 [月・祝]

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 毎週月曜日  
※ただし、7月15日 [月・祝] は開館

入館料 オンライン日時指定予約 一般 1300円(1100円) 学生 1000円(800円)

- ・( )内は障害者手帳提示者及び同伴者1名の料金。中学生以下は無料。
- ・当日券(一般1400円、学生1100円)も販売しております。  
(ご予約の方を優先してご案内いたします。当日券の方はお待ちいただくことがあります。  
混雑状況によっては当日券を販売しないことがあります。)
- ・2024年5月28日 [火] より当館ホームページで予約を受け付けます。
- ・ご予約は1グループ10名までとさせていただきます。

アクセス 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車 A5 出口(階段)より徒歩8分、  
B4 出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、B3 出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分

住所 〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1

お問合せ Tel. 03-3400-2536 (代表)  
website <https://www.nezu-muse.or.jp>

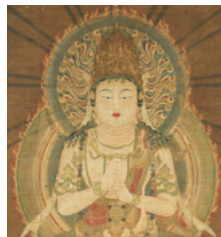
広報・取材の  
お問合せ 学芸部 広報課 所/村岡  
Tel. 03-3400-2538 (直通) e-mail: [press@nezu-muse.or.jp](mailto:press@nezu-muse.or.jp)

当館の広報制作物に関して、郵送からメール配信への切り替えをご希望の方は、根津美術館 広報課へ  
どうぞお知らせください。(press@nezu-muse.or.jp)

## 次回展 企画展「美麗なるほとけ 一館蔵仏教絵画名品展一」

2024年7月27日 [土]～8月25日 [日]

仏教絵画は、根津美術館コレクションの中核をなす作品群です。国宝「那智瀧図」をはじめとする、日本・東洋の仏教絵画の名品をご堪能ください。



左：国宝 那智瀧図(部分) 日本・鎌倉時代 13～14世紀  
右：重要文化財 大日如来像(部分) 日本・平安時代 12世紀  
いずれも根津美術館蔵

\*本資料掲載の内容は、予告なく変更になる場合がございます。最新の情報は当館広報課へお問い合わせください。(2024.3.)